



大浜学園だより

大浜中学校区子ども育成支援協議会

平成28年5月号



大浜中学校区子ども育成支援協議会(大浜学園)の方針

子どもたちの成長を支援 保護者の子育てを応援 先生方の負担を軽減

「放課後子ども教室」が始まります

本年度より大浜学園の活動が認められ、子どもたちの活動を支援するモデル地区として掛川市教育委員会より「放課後子ども教室」を月1回程度開催するよう依頼されました。なお、市教育委員会では、初年度は、まず実施し、それを改善していくという積み重ねをし、将来的には実施回数を増やしていきたいと考えています。

大浜学園「放課後子ども教室」は、地域の皆様の御支援・御協力を得て、千浜と大坂小の子どもたちの放課後の居場所づくり、体験の場づくりを行う活動です。また、ゲーム等個別に遊ぶことが増えている昨今、友だちや地域の大人と一緒に活動することは、子どもたちのコミュニケーション能力(関わる力)を高めることになると考えます。実施日については、次のとおりです。

【学校・日時】

千浜小学校 5月18日(水)15:00～

大坂小学校 6月8日(水)15:00～

【内容】 輪投げ、方言カルタ取り等

シニアクラブや、方言カルタを作られた「おたいらの会」の皆さん等に御協力をお願いしています。

子どもが生まれたときは、
親も1年生。
お互い失敗しながら
成長していくのです。

完璧なんてできません。



本年度も「夏休み子ども教室」を開催します

本年度も「夏休み子ども教室」を開催します。

平日の午前は、お家の方たちは、お掃除や洗濯などに忙しく、かわいけれども、ちょっと……。そんな時、お子さんを参加させてみてはどうでしょうか？

9:10～9:40 読み聞かせ(大東図書館職員他)

9:40～10:10 夏休みの宿題(自習)

10:10～11:40 運動遊び

詳細は、今後検討していきますが、し～すばで開催しますので、ぜひ御参加ください。(参加費300円)



子どもが育つ魔法の言葉

ベストセラーとなったドロシー・ロー・ノルト著『子どもが育つ魔法の言葉』です。
その本の最初にあるのが次の詩です。詳細については、ぜひお読みになっていただきたいと思います。その内容は、この詩でいい尽くされているように思います。

この詩をもっと早く知ったならば…と思うのは私ばかりではないでしょう。もちろんこの詩に書かれていることを心掛けながら育てても、思いどおりになるとはかぎりません。

でも、私たちの願いに少しでも近づいてくれるよう、まずは自分から、我が家から始めていきましょう。



子は親の鏡

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる
とげとげした家庭に育つと、子どもは、乱暴になる
不安な気持ちで育てると、子どもは不安になる

「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる
子どもを馬鹿にすると、引っ込み思案な子になる

親が他人をうらやんでばかりいると、子どももひとをうらやむようになる
叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう
励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる

広い心で接すれば、キレる子にはならない

ほめてあげれば、子どもは、明るい子に育つ

愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ

認めてあげれば、子どもは、がんばり屋になる

分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ

親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る

子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ

やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ

守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ

和気あいあいとした家庭で育てば、

子どもは、この世の中は、いいところだと思えるようになる



ドロシー・ロー・ノルト著『子どもが育つ魔法の言葉』PHP出版より